令和8年2月1日発行
発行責任者　萬矢勝保

大牟田ちゅうおう まち協だより 第25号

ほっとスクール体験デー

令和7年度大牟田中央校区ほっとあんしんネットワーク模擬訓練

11月8日（土）、今年度も大牟田中央小学校を会場に「ほっとスクール体験デー」と称して、「当事者の目線で考える、地域の支え合い、繋がりづくり」をテーマに、大牟田中央校区ほっとあんしんネットワーク模擬訓練に取り組みました。訓練では、暮らしの困りごとをジブンゴトとして捉えるため、当事者体験（アイマスク体験、高齢者疑似体験、車いす体験）をはじめ、実際の場面を想定した声かけ訓練、参加者同士の交流を深める「モルック」など、充実した時間を過ごすことができました。また、今回は訓練の啓発ポスターを大牟田中央小学校の児童が作成したり、三池工業高校の学生ボランティアが当日応援に来てくれるなど、未来を担う若者のパワーも加わりました。訓練のための訓練にならないように、これからも校区住民同士の支え合い、協働によるまちづくりにご協力お願いします。













地域再発見

舟形石棺

大牟田市立図書館館長　山田元樹

大牟田中央校区にお住まいなら「カルタックスおおむた」はご存じでしょう。この建物には大牟田市立図書館とともに「三池カルタ・歴史資料館」が入っています。平成3年4月のオープン時には「三池カルタ記念館」でした。大牟田警察署前交差点の角にあった大牟田市歴史資料館が平成18年に統合されて現在の名称に変わりました。

大牟田は舟形石棺の宝庫です。舟形石棺とは、古墳時代の棺の一種です。凝灰岩でつくられ、細長い屋形船のような形状をしています。大牟田市内で7基発見されています（黒崎山古墳・蜜柑山古墳・高塚古墳・倉永茶臼塚古墳各1基、石櫃山古墳3基）。みやま市の石神山古墳からも3基出土しており、都合10基が分布しています。舟形石棺のメッカである肥後国（熊本県）以外で、これほど集中する地域はほかにありません。

古墳時代に肥後でつくられた石棺が全国各地に運ばれて、天皇陵を含む有力古墳で使われたことが今では定説となっていますが、大牟田の舟形石棺が、この「石棺輸送論」の着想に大きな役割を担った、という学史的意義も有しています。統合前の歴史資料館には、舟形石棺が6基、一堂に展示されていました。3基は福岡県指定有形文化財でもあり、屋内の安定した環境で、大切に保存、公開されていたのです。



統合に伴ってカルタックスに移転、1基は館内ながら、3基は建物北側の屋外に「展示」されています。簡単な覆いはあるものの、夏は草に覆われ、冬は落ち葉に埋まり、石棺そのものにも苔が生じるような野ざらし状態ですが、古墳好きの方なら遠方からでも見に来られるほどの石棺です。地元の方にはぜひ知って、誇りにしてほしいと思います。

かつての大牟田市歴史資料館展示品には、現在他所で活躍している資料も多くあります。九州国立博物館4階文化交流展示第4室の、石櫃山古墳第1号舟形石棺と大牟田弥平山古墳出土石甲です。行かれたら、立派なスペースで誇らしげな地元の資料をぜひ覗いてみてください。

グランドゴルフ大会



令和7年11月2日（日）、大牟田中央校区まちづくり協議会主催「秋のグランドゴルフ大会」が開催されました。

当日の天候的はやや曇り空でしたが、プレーするにはちょうど良い気候でした。

50名の参加をいただき、笑顔溢れる元気なプレーで皆さま盛り上がっていた様子でした。

楽しみながら身体を動かすことはやはり良いですね♪

今回ホールインワン賞は7名出ており、景品もしっかり持って帰られました（笑）

事務局長の前山さんは勿論、吉冨さん、その他多数の方に当日は朝から準備等ご協力いただき、大変有難うございました。

次の開催は令和8年3月を予定しておりますが、是非沢山の方々でプレーできるよう楽しみにしております。

皆さまお疲れさまでした。

困った時の問合せ先

大牟田警察署	火事・救急	中央地区地域包括支援センター
0944-43-0110	119	0944-41-2676

上宮公民館　「餅つき大会」



12月6日（土）に大牟田中央校区コミュニティセンターをお借りして恒例の餅つき大会を行いました。近年、子ども会の会員も減少してきたため、公民館加入者以外の方々にも声をかけて大人25名、子ども15名の40名が集まり、楽しい一日を過ごすことが出来ました。

昨年まではプロパンガスやコンロの手配、作業スペースの確保など準備する事が沢山ありましたが、新しいコミセンのおかげで多くの手間が省けてスムーズに行事を進めることが出来ました。

来年はもう少し参加者を増やしても無理なくできそうですので、新たに声掛けを進めてコミセンで行う恒例の行事に出来ないかと考えているところです。







まち協主催　「親睦旅行」



令和7年11月23日（日）大牟田中央校区まちづくり協議会主催の親睦旅行が開催されました。

当日は天候にも恵まれ、参加者20名にて玉名市のつかさの湯まで行ってまいりました。

大牟田中央小学校前に集合し、お迎えのバスに乗車し、何人かは早速バス内でビールを楽しんでおられたみたいです(*^^*)

到着後は各自温泉に浸り、団らんを楽しむなど、自由気ままに過ごされた後は、楽しみの食事の時間となりました。

私も2回目の参加になりますが、ココのお食事は結構満足する内容でどなたへもオススメできる内容のものかと思います。

ゆっくりした時間でくつろぎながら、美味しいお酒も酌み交わし、色々な方との会話は勿論、参加者全員と交流を築けたのではないでしょうか？

また、温泉施設も広々としており、お風呂好きな方も十分満足できるものと思いますよ。



今回も前山事務局長のご協力の元、親睦旅行が遂行されたこと、大変有難うございました。

来年度も事業部会として、また親睦旅行を計画しますので、是非多数のご参加をお待ちしております。

除草クリーンアップ



令和7年11月28日（金）午前8時30分から大牟田中央小学校グラウンドと笹林公園通路等の除草作業が行われました。

大牟田中央小学校児童と保護者の皆さんと一緒に地域の方々も参加され、小学校周辺がさっぱりとしました。

これで子ども達も気持ちよく昼休みや放課後にグラウンドとその周辺を走り回れるようになりました。また、マラソン大会でも思いっきり走る子どもの姿が眩く感じました。

頼りになる子どもたち

大牟田中央校区まちづくり協議会では年間を通していろいろな活動を行っています。

その活動をスポーツ少年団のメンバーも応援してくれて大活躍してくれます。

大牟田中央ソフトボールクラブは「赤い羽根共同募金」と「歳末助け合い募金」で大声を出しながらゆめタウンに買い物に来るお客さんに協賛を呼びかけてくれました。

令和7年は10月19日（日）に赤い羽根共同募金を、12月14日（日）に歳末助け合い募金を、午前11時から1時間、それぞれゆめタウンの入口数か所で協力してくれました。子ども達の元気な声で大人だけの時よりも沢山の協賛金が集まっています。













また、サッカークラブのサマードラゴンの皆さんは大牟田川の清掃にいつも来てくれます。

令和7年は赤い羽根共同募金と同じ日、10月19日（日）でしたが、午前9時前から沢山の子ども達が七浦町の七浦橋南側に集まってくれました。

練習前の貴重な時間でしょうが、てきぱきと動いてくれる彼らのお陰で清掃作業も短時間で終了し、赤い羽根共同募金活動へも参加することができました。







